

トヨタ自動車

新興国の需要をとらえる



IMVはKD生産を拡大する(写真はタイで生産する「フォーチュナー」)



ダイハツから供給をうけた新小型車アギア



CEATEC JAPAN

私たちトヨタホームは、CEATEC JAPAN 2013特別展示「Lifestyle Innovation 2013」に出展します。
[会期]2013年10月1日(火)~10月5日(土) [会場]幕張メッセ

お問い合わせはこちらへ。TEL 0800-500-2448(無料)9:00~17:30(年中無休)トヨタホーム (人生をいっしょに)トヨタホーム

愛知製鋼株式会社

夢をつくる
テクノロジー。

熱く、強く、まっすぐに。

愛知製鋼株式会社

〒476-8666 愛知県東海市荒尾町ワノ割1番地

ホームページアドレス <http://www.aichi-steel.co.jp/>

TOYODA GOSEI

~自動車部品とLEDで、
人と地球の未来に貢献~

豊田合成株式会社

~世界17カ国/地域に60のグループ会社で事業展開~

- 内外装部品 (インバネモジュール、ラジエーターグリル 他)
- オートモーティブリーディング製品 (ウェサストリップ、ガラスラン 他)
- 機能部品 (燃料タンクモジュール構成部品、ホース類 他)
- セーフティシステム製品 (ハンドル、各種エアバッグ 他)
- オプトエレクトロニクス製品 (青色・白色LEDランプ・チップ 他)
- 特機製品 (通信機器部品、住宅設備製品、産業車輛部品 他)

本社/〒452-8564 愛知県清須市春日長畠1番地
TEL:052-400-1055 Fax:052-409-7491
<http://www.toyoda-gosei.co.jp/>

成長鈍化で下方修正

「新興国は将来拡大する重要な市場だが、何が起きるかわからない透明な市場もある」。トヨタ自動車の新興国事業を受け持つ第2トヨタ担当の伊原保守副社長は、こう語る。事実、足元では一部の新興国で需要拡大にかけが見えきており、トヨタも苦戦を強いられている。ライバルとの競争も激しさを増している。トヨタは新興国戦略の柱としている「IMV」シリーズに加え戦略小型車を相次ぎ投入するなど巻き返しを図る。

専用小型車を投入

トヨタは13年4月期連結決算会見で14年3月期の海外の販売台数計画を下方修正した。「新興国で市場が弱含んでいる」(佐々木卓夫常務役員)ことが大きな要因だ。特に動向に注意が必要としたアジアでは当初計画比6万台減の17万台とした。

タイでは当初50万台の販売目標だったが45万台に下がった。市場が拡大して12年の注文残が3月末であつたが4月以降は落ち込んでいる。一方、中国は経済成長が鈍化しているが、「市場全体は、12年の193万台を少し上回るだろう」(佐々木常務役員)と見る。ただトヨタは12年秋に起きた日本車不買運動の影響が尾を引いて前年に近い水準に戻っている。中国は経済成長で、市場自体が落ち込んでいた。一方で、アジアでは当初計画比6万台減の17万台とした。

トヨタが持続的成長を続けるため不可欠だ。伊原副社長は重点地域として中国・東南アジア諸国連合(ASEAN)、インドやブラジルなどを挙げ、中国もエクイオストと並ぶEFC(同)としている。一方で、アジアでは当初計画比6万台減の17万台とした。

トヨタが持続的成長を続けるため不可欠だ。伊原副社長は重点地域として中国・東南アジア諸国連合(ASEAN)、インドやブラジルなどを挙げ、中国もエクイオストと並ぶ